

【経営課題2：厳正・円滑でかつ効率的な選挙の管理執行】

○経営課題の対応状況

内容	経営課題への対応状況に対する認識
誤りのない効果的な選挙執行の実現	平成20年から引き続き日程の予測のつきにくかった衆議院議員総選挙において、選挙無効のない円滑な執行ができた。

[戦略2-1：投票環境の改善と事務の整備・適正化]

○戦略と具体的取組の一体的評価

戦略と具体的取組の一体的評価と課題	(※1)	対応方向
業績目標5項目とも概ね目標を達成している。その中でも項目③については、解散による衆議院議員総選挙で執行までの日が短かったことから準備期間を要するネットワーク化の拡大等は困難であったが、SQL版ネットワークの試行実施は行えた。	ア	新たな対応策① 日程がある程度予測できる22年度参議院議員通常選挙において投票管理システムのネットワーク化の拡大を図っていく。 新たな対応策② 今後の選挙において執行経費の大幅な縮小が求められる中、より効率的で適正な経費執行が必要となる。

○戦略の達成目標(アウトカム)の進捗状況

戦略	戦略の成果・目標達成状況	評価結果(※2)
投票環境の改善を行うとともに厳正・円滑な管理執行のための事務の整備等を行う。	5つの取組とも概ね目標を達成。投票管理システムの改善については危機管理(停電対応等)に新たに対応する必要があるため、「USBで電源供給できるHUB」を補欠選挙執行時に試行使用する。	B
<p style="text-align: center;">達成目標(アウトカム)</p> 選挙時には、これまでと同様に選挙無効がないようにするとともに投票所での有権者の利便性を向上させる。 平成21年度 ・選挙執行のためのマニュアルの修正 選挙があれば ・選挙事務従事者の確保 ・老朽機器等の更新 ・不適正な会計事務の再発防止と適正な会計事務を行うための事務改善 平成23年市長選挙までに ・投票管理システムの改善(現在6区→全区のネットワーク化)		

○具体的取組の業績目標(アウトプット)の達成状況

番号	取組内容	業績目標(アウトプット)	取組実績・目標達成状況	評価結果(※3)	課題及び改善策
①	選挙執行のためのマニュアルの修正 【22 削除】	21年度中に選挙事務テキスト、選挙関係例規集、選挙関係告示例の修正を行い、使用可能な状態にする。	各担当での加筆・修正等の作業を完了した。委託業者でデータの修正をし、3月下旬に庁内ポータルに掲載、使用可能な状態となった。	②	今後の法改正等にどのくらいのスピード感で対応できるかが課題。
②	選挙事務従事者の確保 【22 2-1-②】	全市的な選挙が行われれば区役所以外の職員に投票事務の応援を依頼し必要人員を確保する。	平成21年8月に解散による衆議院議員総選挙が執行された際、6区76人の不足人員に対し区役所以外の所属より応援を求め投票事務を適正に執行できた。	②	22年度参議院議員通常選挙においても不足人員がある場合他所属による応援を求める。
③	投票管理システムの改善 【22 2-1-③】	全市的な選挙が行われれば6区以上でネットワーク化を実施し、スムーズに投票を行えるようにする。	平成21年8月に解散による衆議院議員総選挙が執行された際は、日程の確定が遅れたため従前の6区でネットワークを実施、全区導入に必然のSQL版ネットワークを3投票所で試行実施し良好であった。	②	4台以上の投票所でSQL版システムを利用するのでマニュアル等の整備が必要。
④	選挙開票用計数器の精査検証により、計画的更新を行う。 【22 削除】	全市的な選挙が行われれば48台更新し、機器の老朽化によるトラブルなく開票を行えるようにする。	平成21年8月に解散による衆議院議員総選挙が執行された際、48台を更新しトラブルなく開票を行えた。	②	今後の選挙においても、計画的に更新を行う。
⑤	不適正な会計事務の再発防止 【22 2-1-④】	経常経費(毎年)及び選挙時経費(選挙があれば)の検証を実施し、改善案を作成する。	年末に、チームを組んで6区を訪問し、書類を点検し意見を聞き取りまとめて、改善策を年度末の選挙係長会で示した。	②	今後も選挙後に抽出区を訪問し、書類点検意見聴取を行う。

(※1) ◆戦略と具体的取組の一体的評価(※1)のうち今後の対応方向  
ア:業績目標を達成し、想定した成果も得られており、今後より一層効果的・効率的に取組を実施していくことが必要  
イ:業績目標が未達成の取組があり、想定した成果も得られていないため、取組の改善・見直しが必要  
ロ:業績目標を達成しているのに、成果が得られていないため、実効性のある取組への見直し・再構築が必要  
エ:業績目標が未達成であるのに成果が得られており、達成目標のあり方や取組の有効性・必要性の検討が必要  
オ:環境変化等により、戦略・取組の根本的見直しが必要

(※2) ◆戦略の達成目標(アウトカム)の進捗状況  
A:期待を上回る成果が得られている  
B:概ね期待どおりの成果が得られている  
C:期待する成果は得られていない  
D:環境変化等の影響を受け、取組を遂行する必要性が薄れている

(※3) ◆具体的取組の業績目標(アウトプット)の達成状況  
①:目標を大きく上回る達成  
②:目標を概ね達成  
③:目標が達成できなかった  
(1)取組は予定どおり実施したが、結果として目標を達成できなかった  
(2)期待する成果は得られていない  
(3)取組が生じた想定した取組を実施できなかった。または進捗が遅れている  
(4)環境変化等の影響を受け、取組の優先度が下がった。取組を遂行する必要性が薄れた